

全力で歩き通せ！折乃笠部長 神奈川の歴史を訪ねる徒歩の旅

【12】平成時代～未来へ 横浜～川崎

神奈川そして日本はどの様に未来に向かっていくのか

2015年10月11日(日)

【1】全体計画	1月 1日(木)
【2】神奈川県立歴史博物館	1月10日(土)
【3】弥生時代 三浦半島	2月14日(土)
【4】奈良時代 海老名～大磯	3月 7日(土)
【5】鎌倉時代 鎌倉	4月 4日(土)
【6】室町時代 小田原	4月29日(水)
【7】江戸時代 箱根	5月25日(土)
【8】江戸時代 浦賀	6月14日(日)
【9】明治時代 横浜	7月26日(日)
【10】昭和時代 横須賀	8月10日(月)
【11】昭和時代 川崎	9月20日(日)
【12】平成時代～未来へ 横浜～川崎	10月11日(日)
【13】まとめ	12月20日(日)



1. 今回の旅の目的

・平成時代～未来へ 横浜～川崎

神奈川そして日本はどの様に未来に向かっていくのか、

我々日本人はどう考え行動したら良いのか、折乃笠が迫る。

2. 旅のルート

行 大月駅→(中央本線)→八王子駅→(横浜線)→東神奈川駅→(根岸線)→
桜木町駅

歩 桜木町駅→(横浜～川崎 徒歩の旅)→川崎駅 13km

帰 川崎駅→(南部線)→立川駅→(中央本線)→大月駅

3. 行動内容

7時34分:大月駅出発

9時30分:桜木町駅着

9時47分～14時55分:横浜～川崎を訪ねる徒歩旅 13km

桜木町駅→三菱みなとみらい技術館(横浜)→国道15号線→
東芝未来科学館(川崎)→川崎駅

15時10分:川崎駅から南部線に乗る。反省会は川崎駅で済。

17時00分:大月駅着



4. さあ行こう 未来に向かって（折乃笠公德）

弥生時代から平成時代を訪ねて、神奈川全域を歩いてきた。我ら日本人は、大きな苦難を乗り越え、創意工夫して、それぞれの時代を造ってきたことが良くわかった。

日本は世界無比3000年の歴史を持つ唯一の国であり、世界に大きく誇れる。

これから先、日本は、必ずや明るい未来を造ることができると思える。

さあ行こう 未来に向かって。

5. 横浜～川崎 徒歩の旅レポート（折乃笠公德）

9時30分

桜木町駅着。超近代的な景色がここにある。

みなとみらい。これ程、地名と景色が一致している所はない。



桜木町駅から超近代的景色を観る

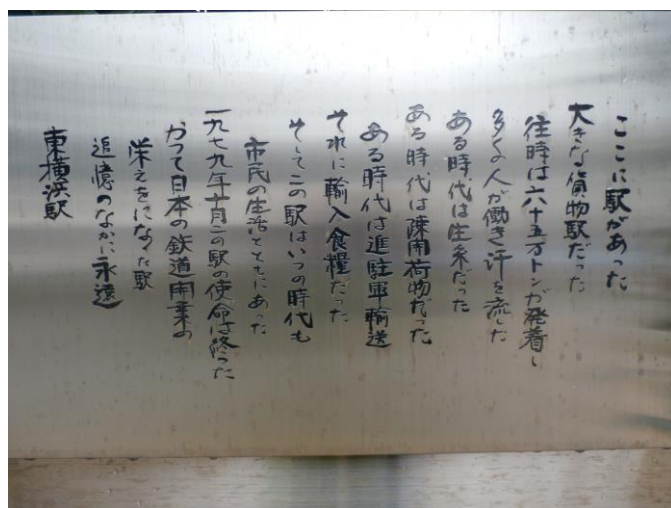
さて、桜木町駅は明治5年、日本で最初に鉄道が開通した時に初代の横浜駅として開業した。その後、東海道本線の延伸に伴い「横浜駅」の名称を現在の横浜駅に譲り、大正4年に桜木町駅に改称された。

また、その後、すぐ近くに東横浜駅という貨物駅ができた。

1979年10月その駅の使命は終わった。

跡地には栄光が記されていたアルミ板がある。

鉄道の世界でも、歴史は、常に塗り替えられている。



東横浜駅 跡地を示すアルミ板

9時47分

桜木町駅を出発。

今回は横浜から川崎までの徒歩の旅である。

9時57分

ランドマークタワーの真下に来た。

見慣れた景色も視点によって形が大きく異なる。

エレガントというより、力強く見える。

人の見方もいろいろな視点で見て、常に良き所から見たい。



ランドマークタワーを見上げる

9時57分

三菱みなとみらい技術館着。

三菱みなとみらい技術館は1994年、
地域の人々との交流と科学技術への
関心を高めることを目的に、横浜に
開設。

三菱重工業が手掛ける最先端の科学
技術・製品を「環境・エネルギー」
「航空宇宙」「海洋」「交通・輸送」
「くらしの発見」と「技術探検」の6つの
展示ゾーンに分け、実機・模型、パネル
などでわかりやすく紹介している。



三菱みなとみらい技術館全景



入口 少女が私がやりますと指をさす



日本期待の星 MRJの機首モデル



純国産ロケットエンジン 凄い技術



にくいね三菱 宇宙開発も手掛ける



栄光のDF501 気動車 ED701



戦艦 武蔵 (大和と同型)



日本初の旅客機 YS-11



分散型エネルギーシステム ふそうがひく



F86Fセイパー ジェット戦闘機



超大型客船 ダイヤモンドプリンセス

三菱重工の技術的底力を見たような気がする。技術力は日本トップではないか。戦後70年、日本の復興を大きく牽引してきた科学・技術がここにあり。未来に向かって更に進むだろう。交通・輸送工学(鉄道、自動車、航空機、宇宙機器、船舶、産業機械)を愛する小生にとって、ここ三菱みなとみらい技術館は、まさしく別天地である。一日居ても、まだ足りない。

10時40分

出発

国道15号線を川崎に向けて行く。

定期観光バス“あかいくつ号”が行く。レトロ&みらい感あり。



あかいくつ号が行く どこへ行く

みなとみらいにも、ビルの合間にまだ緑の空き地がある。

未来に向かってどんな建物が建てられるのか楽しみである。



ビルの合間の空き地

ニトリがBMWを販売？
これまた未来的景色。



ニトリがBMWを販売？

10時59分

みなとみらい大橋を渡る。
近代的なビル、レトロな建物の中、橋がある。
多くの人たちがジョギングで橋を渡る。
この素敵な街を走ること、
明るい希望に繋がる。



近代的なビルとみなとみらい大橋



レトロな建物とみなとみらい大橋

横浜は、地方の小さな港から超近代的な湾岸都市に大きく変わっていった。その中で、昔の良き時代の建物、文化や風習は、上手く保存されており、まさしく新と旧が上手く融合されている日本的なすばらしい都市に横浜はなった。そして、更に未来に向かって、魅力的な街になっていく。

11時16分

国道15号線を東に歩いている。

ここで、バス停で感動的なポスターに出会う。

『「100年も先のことは、わからない」
なんて言うのはやめよう。
そう決めました。』

一枚のポスターが未来を造る。

今を生きる人たちが、100年先にも責任を
持った行動が必要という意味だと思う。

未来は未来の人が造るのではなくて、
今の人が造るのだと思う。

川崎へ続く国道15号線は、
新旧いろいろな顔を持つ。



感動的なポスター有

車道8車線、歩道10mの
超ワイドな道。

昔懐かし手漕ぎポンプ。

超日本的な銭湯。

ガード下の飲み屋さん。

100年先も残っていて
ほしい。

13時03分

川崎に入った。



超ワイドな道



昔懐かし手漕ぎポンプ



超日本的な銭湯



ガード下の飲み屋さん



13時40分
川崎駅通過。

14時05分
東芝未来科学館着。



東芝未来科学館 全景



内部 親子連れで賑わう

『館長あいさつ

東芝未来科学館が2014年1月31日にオープンいたしました。「人と科学のふれ合い」をテーマに地域と連携した文化交流の場として、また科学技術に親しんでいただくコミュニケーションの接点として活動していた、東芝科学館が設立されたのは1961年(昭和36年)11月であり、それから52年が経ちました。今回新たに、川崎ラゾーナ地区に東芝未来科学館としてリニューアルオープンいたしました。

東芝未来科学館は、主に3つのコミットメントを地域社会に対して持っています。ひとつはエレクトリックとエレクトロニクスを中心とした最先端技術・歴史・科学の(体験)展示・情報発信、さらに科学技術教育等への貢献(イベント/実験教室等を通じて)、そして産業遺産の保存・展示(アーカイブ)です。そのために、エントランスのウェルカムゾーンから始まり、創業者の部屋と当社1号機を展示したヒストリーゾーン、現在から未来にわたる最先端技術を展示したフューチャーゾーン、お子様だけでなく親子でも楽しめる科学実験やワークショップを行うサイエンスゾーン等を準備しました。また最先端の技術を楽しんで頂くため、ゲーム感覚のアミューズメントも準備しました。過去から未来にかけて、体験し、学んで、楽しんで頂ければ幸甚(こうじん)に存じます。』



からくり人形が技術の原点



静電気実験 親子の髪の毛に注目



日本初電気洗濯機



日本初電気掃除機



日本初大型テレビ



日本初ポータブルパソコン



超ワイド画面の中を走る汽車



宇宙と未来を担う女の子

東芝は弱電強電の世界で高い技術力とパイオニア精神で日本経済を牽引して来た。戦後70年、日本の電気メーカーはそれぞれ個性を生かして世界トップクラスになった。三菱:天皇 東芝:公家 日立:野武士 パナソニック:商人 と言われている。未来永劫、日本の電気メーカーは、益々世界をリードしていく事を願う。

14時55分

川崎駅着。ゴール。

今回は、13km 5時間8分の旅。

小雨の中、心地良い徒歩の旅であった。

横浜、川崎は、今後益々日本の未来に貢献して行かろう。

川崎駅の中は相変わらず活気があって明るく賑やかだ。未来の日本も、こうあってもらいたい。



活気、明るく、賑やか 川崎駅

5. グルメ情報 (折乃笠公德)

1) お昼ご飯の部 13時45分

川崎駅前の中華飯店。

レバ野菜定食、濃くがあって超美味い。

後半、大好きな酢とラー油で食べる。

これまた超美味。

未来にも残したい。



レバ野菜定食 超美味

2) おやつ部 14時55分

川崎駅ホームで反省会。

キリンビール秋味とおつまみコレクション。

乾杯～！最高！

燻製チーズと秋味ベストマッチング。

この幸せ、未来に伝えたい。



キリンビール秋味とおつまみコレクション

6. まとめ（折乃笠公德）

人間学を学ぶ月刊誌“致知(ちち)” 2015年11月に素晴らしい対談記事が載っていた。

『リーダーは遠きを慮れ 京都大学名誉教授中西輝政vsジャーナリスト櫻井よしこ』内容をわかりやすくするため、折乃笠が司会者として参加した。

折乃笠:本日は、京都大学名誉教授の中西輝政さんとジャーナリストの櫻井よしこさんに日本の進むべき道を語り合っていたいただきたく存じます。よろしくお願ひ致します。

中西:こちらこそよろしくお願ひ致します。

櫻井:よろしくお願ひ致しますわ。

折乃笠:私は、弥生時代から平成時代を訪ねて、神奈川全域を歩いてきました。

我ら日本人は、大きな苦難を乗り越え、創意工夫して、それぞれの時代を造ってきたことが良くわかりました。

日本は世界無比3000年の歴史を持つ唯一の国であり、世界に大きく誇れると思います。

これから先、日本は、必ずや明るい未来を造ることができると信じています。

中西:日本はもともと、世のため人のため、そしてお国のため、という素晴らしい心を持っていたんです。ところが戦後、誤った自虐的な歴史観が広がったため、「そういうのは全体主義、軍国主義になるんだ。けしからん」となった。むしろ自分の欲望だけに生きるのが新しくいいんだということはずっと突っ走ってきました。その結果、いま、日本の国は内外ともにいよいよ抜き差しならないところにきています。そういう中でいよいよ日本本来の心を、国も民も回復しなければ、この国の未来は本当になくなってしまうと私は憂慮しています。それゆえにこそ、いま本来の歴史観を回復することが大切なのです。

櫻井:二十一世紀のリーダーたる資格を持っている国は、日本ではないかと私は思います。といっても、いまの日本、つまり戦後の日本ではなく、長い歴史の中で形成した本来の日本です。中国やアメリカなどと比べて日本型の民主主義が素晴らしいと思うのは、皆が幸せになることを目指しているところです。この考え方は十七条憲法から来ていると思います。民を大御宝として、上に立つ人は民が眠っている間に起き出して働きなさいとか、民に税を課す際も、田植えの時ではなく冬の仕事のない時にしなさいとか、本当に民を大事にしています。

七世紀初頭にあんなに優れた価値観を打ち出して、国是とした国は日本だけです。私たちは以来千数百年の間、本当に民主主義的な、一人ひとりを大事にする価値観を実践してきた国家なのです。他国とも今日まで数えるほどし

戦争をしていない。他の国はどうかというと、中国を含めて他国との紛争や戦争を繰り返しています。

民を大事にする優しさを持ち、平和で、穏やかな暮らし振りを続ける一方で、戦うべき時には立ち上がる雄々しさを兼ね備えている大国は、日本しかありません。

だからこそ日本は二十一世紀のリーダーたり得ると思うのです。

ただ、そうなるためには政治家も国民も、歴史や、私たちが大切に育ててきた価値観を知らなければなりません。

中西: おっしゃるとおりです。私は今回の有識者懇談会での経験や、あの狂ったような反安保法案の気運、そうしたところでの日本人の根深い迷妄を見ていて、これはもう歴史観という一番の大本から日本を正さなければダメだと本当に痛切に感じました。これからは日本人の歴史観を再生させる仕事に残りの人生を懸けようと決意を固めました。

櫻井: 自分、日本人が何者であるかを知らない人物が、日本の価値観を掲げて世界のリーダーたり得ることはあり得ません。ですから私たちは歴史を学び、日本という国をよく知ることによって、初めて世界のリーダーたる資格を身につけることもできる。そういう遠き慮りが不可欠だと思います。

折乃笠: 私の今回の旅の目的は、日本はどの様に未来に向かっていくのか、我々日本人はどう考え行動したら良いのか、を知ることでした。そして、その答えは、歴史を学び、日本という国をよく知るでした。今回の中西先生、櫻井さんの対談の結論と一致して非常にうれしいです。

中西、櫻井: 一年間、御苦労様でした。

折乃笠: 次回がまとめで最終回になります。自他共納得のゆく最終回にしたいと思います。